

松本歯科大学校友会

広報

NO.32 2007.12.1

発行所 松本歯科大学校友会
〒399 0781
長野県塩尻市広丘郷原1780
TEL 0263 54 1432
FAX 0263 54 1087
発行者 矢ヶ崎 雅
編集者 大須賀 直人
印刷所 日本スコーラ株式会社

各支部で活発な学術講演会が開催される

兵庫県支部活動講演会

8月25日(土) クラウンプラザ神戸(旧新神戸オリエンタルホテル)

平成19年度松本歯科大学校友会兵庫県支部活動講演会が8月25日クラウンプラザ神戸(旧新神戸オリエンタルホテル)にて総会に引き続き行われた。講師にシドニーオリン

ピック銀メダリスト、現在は天理大学柔道部監督、同体育学部准教授の篠原信一先生を招いて、「演題」「競技生活を振り返り、今 指導者(管理者)として感じていること」

が行われた。講演では、オリンピックの選手村での話や、試合本番での精神論、ご自身が柔道の道に導かれ、そしてはつきりとした目標を持つてからの柔道



シドニーオリンピック銀メダリストの篠原先生

に対する取り組み方、現在には後進の指導についてなど、それと、日本柔道連盟の選手に対する、練習から試合本番

までの完璧なサポート体制についてなど、時間が短く感じられるほどの講演振りだった。

最後に兵庫県支部副会長、林先生より講師に対し謝辞を申し述べられ無事講演会は終了した。

梓学(19期生)

富山県支部学術講演会

8月25日(土) 富山第1ホテル

2007年8月25日(土)

療法もあると考えられる。

富山県支部学術講演会が富山第1ホテルにて王 宝禮先生(松本歯科大学歯科薬理学講座・大学院口腔内科教授)をお招きし、「バイオフィルム感染症としての歯周病薬物療法の実際」という演題で開催されました。

そこで、今回、当支部は松本歯科大学の王 宝禮教授に「抗生薬の全身投与による歯周病治療」をお願いした。王教授は私が今更、紹介するまでもなく、全国各地で講演し、聴衆に感銘を与えている臨床薬理学研究者であるので、今回は校友会だけではなく他大学卒の歯科医師の参加も認めた。

1986年に「Lingの臨床歯周病学」(岡本浩監訳)は出版されて以来、多くの歯科医師が日常臨床に於いておこなっている歯周病治療は、イエテボリの影響を受けていることは論を待たないと思われる。

講演は学術的内容にとどまらず、歯科界への提言も盛り込まれた充実した内容であり、全ての参加者から(今回の企画について)賞賛を頂くことが出来た。

しかしながら、これまでの講演の眼目は歯周病の原因である細菌の除去を目的とした、いわゆる外科的療法のノウハウが主であったと考えられる。

参加者は32名、そのうち、校友会員は8名であった。校友会員の参加者は次の通り(敬称略)。

ところが、我々が少なからず経験する患者さんのニーズには、外科的処置以外のいわゆる(エビデンスに基づいた抗生薬の使用による)内科的

澤本正登(3期)、新川いくみ(3期)、星野照宗(4期)、本村浩(5期)、松倉純一郎(10期)、林恒人(13期)、川淵貴司(22期)、村山偉知朗(2期)

村山 偉知朗(2期生)



広島県支部学術講演会

9月1日(土) 広島市東区「鶴羽神社二葉」

平成19年9月1日(土)午後5時30分より広島市東区「鶴羽神社二葉」において出席者20名を迎え、広島県支部学術講演会講習会が開催され、竹丸支部長の挨拶後講演に移った。講師はこの4月に

午後10時に佐藤裕紀専務の閉会の辞をもって終了した。

井上 義久(11期生)

本学特殊診療科及び大学院健康増進口腔科学講座教授に就任された小笠原 正教授(6期)にお願いして「有病者の歯科治療と偶発事故の対応」と題して、医学的評価、症候別の対応や疾患別の対応について講演していただいた。今後急速な高齢化社会を迎え、患者さんの有病率が高まる中、日常臨床における緊急事態を避けるために、十分な問診や現症の評価、痛くない局所麻酔法や、異物誤嚥時やシヨック時の対応等についてパワーポイントやビデオ、資料をまじえ詳しくわかりやすい講演をしていただいた。同窓の教授ということもあり、忌憚のない意見交換がなされ充実した講演会であった。また、小笠原教授からは母校の近況についても報告があり、参加した校友会員にはとても有意義な時間となった。引き続き懇親会が行われ、



講師の小笠原教授



竹丸広島県支部長

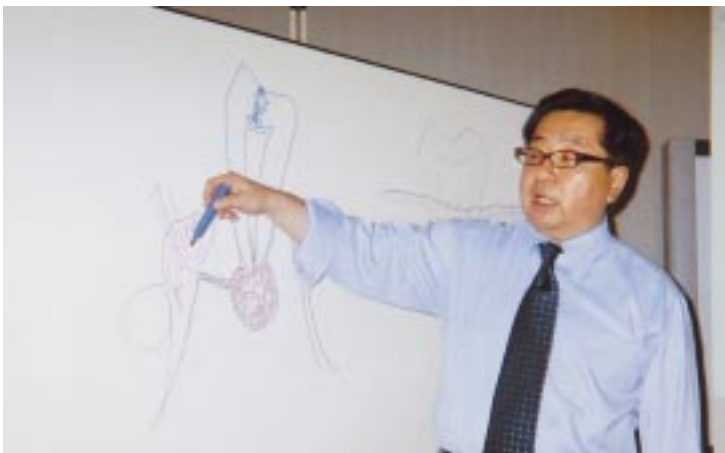
東京都支部学術講演会

9月30日(日) 中央区京橋 三栄ビル別館 昭和薬品化工(株)内

7月15日(日)に予定していた講演会が、当日台風のため順延になり、今回9月30日(日)中央区京橋 三栄ビル別館 昭和薬品化工(株)内を会場に、東京都支部学術講演会が開催されました。

学術講演会は、最近の健康保険制度の停滞による歯科医院経営の圧迫を、発想の転換で、増患、増収していくという企画で、講師として、田

村仁志先生(3期生・杉並区開業)を招き、「発想の転換で増患、増収」リコールの増えるシステム作りとはと題して行なわれました。講演では、医院経営のノウハウとして、リコールの増えるシステム作り(患者満足度、宣伝効果について、地域に根づいた活動、待合室について)を、日常臨床に必要な周辺機器の紹介として、炭



講師の田村先生



宮城県支部活動講演会

10月13日(土)

宮城県歯科医師会館



2007年10月13日(土)午後7時より宮城県歯科医師会館において、平成19年度松本歯科大学校友会宮城県支部活動講演会が開催された。今回は大阪市開業の吉永勉先生(10期卒)により、「目からうろこの歯科医院経営」と題して約2時間にわたり講演が行われた。本校友会の会員以外も多数の参加者があり盛況裏に行うことができた。

講演は生い立ちや兄弟、医院の紹介、さらには学生時代の栄光(ローラーダンシングコンテスト優勝等)、本人いわく修羅場体験などともユニークな導入から参加者を見ごとに引付け、さすが多数講演会を行っている感じがした。今の状況に常に危機感を持ち行動すること、それもスピードが求められること。またスタッフを大切にすることなど、解っている様でなかなかできないことをユーモアをまじえ、正に目からうろこの語り口で講演し、やり方次第で歯科は益々明るい未来がある。原点に戻り感謝の気持ち忘れず、驕らず、慣れに甘んじてはならないことを示唆したすばらしい講演会であった。

太宰 徳夫(2期生)

兵庫県支部学術講演会

10月20日(土)

兵庫県私学会館



講師の辻田先生

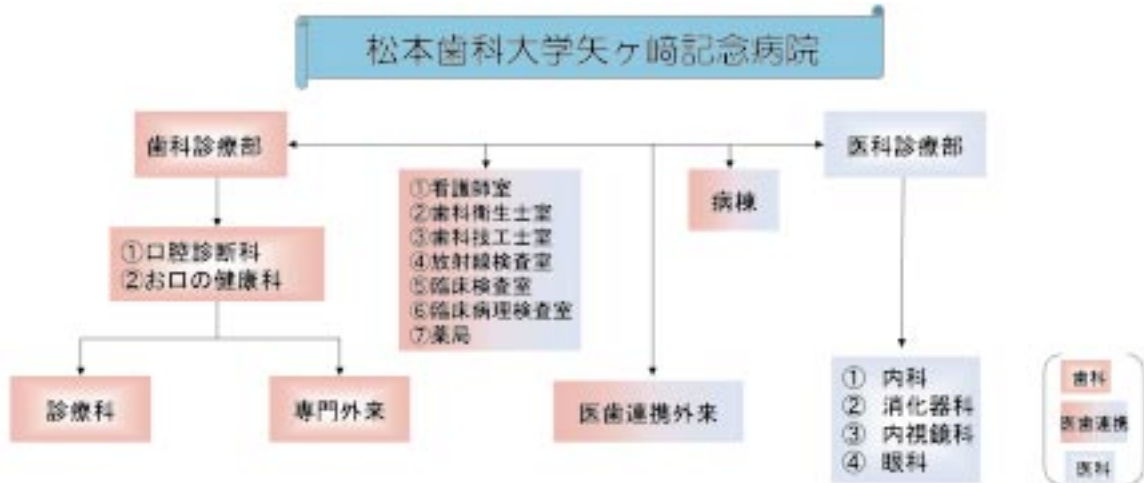


平成19年度松本歯科大学校友会兵庫支部学術講演会が、10月20日に兵庫県私学会館において、午後2時より開催された。講演会は2部に分けて、前半には兵庫県加古川市にて税理士事務所開業の、辻田 重恵(つじた しげよし)先生により、「歯科医の為の役に立つ話」、その後、ティータムに歯科器材メーカー5社により、機器、材料説明、5時より芦屋市開業の野阪 泰弘先生により、「インプラントにおける骨造成術」講演がなされた。

当日、土曜日の午後2時からという時間でもあったが、30人を超える先生方が駆けつけ、辻田税理士の講演は経営者としての心構えや経営者としての目標設定など、熱の帯った講演であり、会員の先生方から質問が多数飛び交い、約2時間は短く感じられた程であった。

後半の講演には夕方からの参加の会員や、他府県の会員外の先生方も参加され、インプラント手術後のリカバリー症例、CTでの術後の経過追跡の症例など、あつという間の時間経過であった。現執行部での初めての学術講演単独事業であったが、出席者より学術講演を通じて会員の繋がりを密にしていきたいことをこれからもおこなって欲しいと要望が出るなど、有意義な講演会は午後7時に終了した。

梓 学(19期生)



いよいよ2008年1月に松本歯科大学矢ヶ崎記念病院が開院となります。
 新病院では診療科のみならず専門外来や医歯連携外来が存在し、医科診療部とも連携をとりながら診療を行なう体制になっています。
 今後も総合医療センターとしてさらに地域医療に貢献し、また「やさしく、安全、親切で、確かな医療」をモットーにして、患者さんにますます信頼される病院づくりを目指しています。



卒業生子女の就学に対する優遇制度について

本学歯学部に通学中の本学卒業生の子女の学生納付金につきましては、そのうち教育施設等拡充費を半額に減免する優遇制度を設け、実施することといたしました。

本学の卒業生各位に対し、その社会への貢献と、本学の教育基盤や施設の強化整備に寄与されてこられたことへの優遇措置として、対象就学生につき、その就学を支援いたしたく、次表のとおり優遇減免措置を実施いたす次第であります。

問い合わせ先：松本歯科大学経理課 TEL 0263 - 51 - 2023

教育施設等拡充費学年別納付金額

	通常納付金額	減免額	納付金額
1年次	430万円	215万円	215万円
2年次	400万円	200万円	200万円
3年次	270万円	135万円	135万円
4年次	210万円	105万円	105万円
5年次	180万円	90万円	90万円
6年次	180万円	90万円	90万円
合計	1670万円	835万円	835万円

(2006年度入学者から適用実施)

編集後記

北信地方では初雪がみられ、日に日に寒さを感じる季節になりました。今年度も職員のみならず皆様のご協力を賜り、5刊目の発行となりました。広報では皆様に貢献でき

るよう一層努力しておりますが、発行日や紙面の都合上、お寄せいただいた記事の校正やお写真の掲載数をご希望にそえない場合がございます。また、不備があればご連絡いただければ幸いです。今後も可能な限り改善していきます

のご協力のおかげです。願っています。

E-mail info_alumni@po.mdu.ac.jp

大須賀 直人